

【水彩画クラブ27】卒業後5年目の活動 2018年1月

◇第108回活動:2018年1月8日(月) 午後1時から ヌエック207室

今日の活動には4人の仲間が欠席し、9名の出席で活動が始まった。その中で2名の仲間が体調をくずし、治療に専念されている。

最初に、次回以降の課題写真が配られた。

①次回1月21日(日)の活動で習作する課題写真が配布された。

『野ぶどうと数珠玉』のA5判サイズの同じ写真がA4判にプリントされている。

A5判～A4判の水彩紙にデッサンしてくる。水彩紙はアルシユorウォーターフォードとし、水張りしても良い。

②2月の活動から習作していく課題写真も配布された。

『小諸城址 懐古園のツララ』のB4判サイズ写真2枚ずつ、通常明るさと明るくしたものを2組配布された。

明るい方の写真は「ツララ」の形や大きさなどを認識する為に、通常明るさの写真は屋根に積もっている雪の状況を把握できる。

今日の『裏磐梯の紅葉』習作活動は、左がわ林の上部と正面空側までを描いていく。

1. 黄色の葉群や紅葉の葉群を描いていく。

① 白っぽく見える葉っぱに、向きと形を見ながらチョンチョンとマスキングを施していく。

② 黄色と朱色をパレットに絞り、それぞれ水溶きしておく。

朱色に少し黄色を混ぜた色もつくって水溶きしておく。

③ 薄めに溶いた黄色を小筆に取り、黄色くなっている葉っぱ群にドライブラシ技法で葉向きを見ながら、擦るようにおいでいく。

④ 薄めに溶いた朱色を小筆に取り、左端上の紅葉の葉っぱや、他に紅く見えている葉っぱ群にドライブラシ技法で葉の向きを見ながら、擦るようにおいでいく。

⑤ 塗った色を乾かしてから、ダブルマスキングを葉の向きを意識しながら描くように施していく。

⑥ マスキングインクを乾かしてから、少し濃い目の黄色や朱色、朱色に少しの黄色を混ぜた色を小筆に取り、課題写真を見ながら夫々の葉群にドライブラシ技法で、擦るようにおいでいき、水筆で散らしていく。

2. 木の幹や枝、小枝を描いていく。

① 全体をドライヤーで乾かしてから、3～4B鉛筆で課題写真を見ながら木の幹や枝、小枝を薄めに描いていく。

② 焦げ茶色に少な目の暗青色を混ぜて、焦げ茶色の影色をつくる。

③ 小筆に焦げ茶色を取り、課題写真を見ながら鉛筆で描いた幹や枝を描いていく。細かい小枝は0号小筆で描いていく。

※ ドライヤーで十分乾かしてから、正面の空に接している境目のマスキングインクを残してきれいに剥がしとっていく。

※ 今日の活動はこれで終了した。右側上部の木々と葉っぱは今日習作したと同じ描き方で、自宅で仕上げる。

鮮青色と暗青色の混色で空の色をつくり、空部分にハケ筆で水をサーッと塗ってから、つくった空色を平筆に取り、左から右へサーッと塗っていく。

3. 次回(1月21日(日))の活動予定

① 今日配布された次回の課題写真『野ぶどうと数珠玉』を、A5orA4判にカットしたアルシユ水彩紙にデッサンする。

② 次回は東松山市内で4時半から新年会があるので、必要な色数の絵の具、小さなパレットと水オケなど工夫して持っていく。